

スクラムを組んで!

寄居町青少年

健全育成町民会議

平成29年度活動報告

■7月
 青少年の非行・被害防止
 特別強調月間キャンペーン
 町内3中学校区の児童生徒健全育成協
 議会とともに、町内の駅前等でキャン
 ペーン活動を行いました。3日間で延
 べ1001人が参加し、青少年の非行・
 被害防止を呼びかけました。



▲桜沢駅でのキャンペーンの様子

■8月 道徳講演会

講師に東邦音楽大学の五十嵐由和先生
 をお招きして「考え、議論する道徳へ
 の質的転換について」という演題で、
 講演していただきました。

■9月 視察研修

東京都の多摩少年院を訪問しました。
 全国初の少年院として発足した施設を
 見学し、非行少年に対する教育方針や
 社会復帰の支援方法などを学び、参加
 者から積極的な質問が出るなど、充実
 した研修となりました。

■1月 道徳講演会・実践発表会

講師に埼玉県道徳教育研究会顧問の鈴
 木賢一先生をお招きして「保護者・地
 域・学校で育てる子どもの心」という
 演題で、講演していただきました。ま
 た、町内小・中学生や保護者の道徳的
 行動の実践発表会を行いました。

■その他

いじめ相談窓口紹介などの広報活動や
 寄居地区防犯大会への参加など、今年
 度も地域に密着したさまざまな活動に
 取り組みました。

道徳講演会・実践発表会を実施しました!

1月23日に中央公民館ホールで、寄居町教育委員会と協力して「寄居町青少年健全育成町民会議道徳講演会・実践発表会」を実施しました。これは、全国で道徳の授業が、平成30年度以後「特別の教科 道徳」として児童・生徒の評価対象となることや、平成23年に滋賀県大津市の中学2年生がいじめを苦に自殺した事件をきっかけとして『いじめ防止対策推進法』が制定されたことを受け、子どもたちの道徳心を育むために学校と地域で支援する体制づくりが必要ととらえ、道徳教科化の準備期間に当たる今年度、初めて行ったものです。

■道徳講演会

埼玉県道徳教育研究会顧問の鈴木賢一先生をお招きし、道徳に関して講演をいただきました。講演の中で「地域で学んだことは、社会に出た後でも通用する」とお話しいただきました。



■実践発表会

児童・生徒は「社会の一員として」、保護者は「子どもの見本として」の自身の在り方について目標を立て、約半年間のおおので実践してきた成果について発表しました。

「相手の気持ちを考えて思いやりのある行動をする」と目標を立てた生徒は、実践したことで相手も思いやりをもった行動をしてくれるようになったため、この行動をクラスや学年全体に広めていきたいと発表しました。また、保護者の一人は「日ごろから学校や保護者、地域の方々と進んで行動する」姿を子どもに見聞を広め、人を尊重する心を育み、自ら行動する力を身に付ける一助となるように、これからもこの行動を続けていきたいと発表しました。



地域の方々とともに ~青少年健全育成~



寄居町青少年健全育成町民会議
 会長 神岡 高秋

今年度、寄居町青少年健全育成町民会議の会長として過ごさせていただき、青少年の健全育成のために自分にどのようなことができるか考える機会となりました。

寄居町青少年健全育成町民会議は、次代を担う子どもたちが、健やかに成長することを願い、家庭・学校・地域が一体となって活動に取り組んでいる団体です。今年度の活動として、9月に東京都の多摩少年院を視察しました。少年院では、少年たちの生活指導や職業指導、教科指導等を中心とした教育・訓練が行われていて、社会生活に適應できる健全な少年を育成する現場の声に触れることができ、少年たちに対する真摯な取り組みに感銘を受けました。

また、今年度の大きなテーマとして「道徳」がありました。「道徳」は、小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から「特別の教科 道徳」として、全国で質的転換が図られるそうです。そこで、道徳教科化の準備期間に当たる今年度、学校と地域が一体となって、大人も教育の当事者として子どもとともに成長し合えるような取り組みとして、道徳講演会および実践発表会を実施しました。

道徳の心は、学校の授業だけでなく、家族との暮らしや友人との遊びの中、地域の人たちとのふれあいの中など、生活のあらゆる場面で「自分自身であったら どう行動すべきか」を考えていくことで、育まれていくものであると思います。昔から「教育の道は、家庭の教養で芽を出し、学校の教養で花が咲き、世間の教養で実が成る」という言葉があるように、家庭や学校だけでなく、地域の方々も一体となった教育体制となるよう尽力していきます。

家庭・学校・地域の連携



寄居中学校区児童生徒健全育成協議会
 会長 金井 健員

町内の皆さんにおかれましては、日ごろから児童・生徒の安全を守るため、登下校時の見守り活動や、子どもたちの健全育成にご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。そして、今後も地域の皆さんの力がより一層必要になっていくと思っています。

さて、子どもたちを取り巻く環境は変化し、価値観の多様化やインターネット利用に関するトラブルが社会問題となっています。子どもたちと保護者とのインターネットに関する知識の差が大きく、私自身も勉強不足は否めません。子どもたちがインターネットに触れていく中で、より安全により良い環境で成長していけるように、地域社会全体で考えることが重要ではないでしょうか。

それから、大人が手本を示し、ルールを守る意義や大切さを教えることも、必要と思います。地域ぐるみで次世代を担う子どもたちを非行から守り、犯罪に巻き込まれることがないように、見守っていただきたいと思ひます。

また、朝のあいさつ運動では、地域の皆さんに笑顔であいさつを交わしていただき、ありがとうございました。

寄居中学校区児童生徒健全育成協議会では、児童・生徒が明るく、楽しく、安心して学校生活が過ごせるように、家庭・学校・地域が緊密に連携して、地域全体で児童・生徒の健やかな成長を促す活動を続けていきたいと思ひます。

今後ともPTA活動と健全育成活動に、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄居町青少年健全育成町民会議（神岡高秋会長）では、青少年健全育成を広域的、総合的に推進するために、町内の学校やPTA、民生委員・児童委員などの青少年関係団体・機関と連携し、活動を展開しています。例年の活動に加え、今年度は初めて道徳講演会・実践発表会を実施しました。1年間の活動内容と併せて、ご報告します。

■問い合わせ/生涯学習課 ☎581・2121内線532